【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和6年11月21日(2024.11.21)

【国際公開番号】WO2023/182454
【出願番号】特願2024-509233(P2024-509233)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 57/02(2012.01)
Ｆ０４Ｂ 53/00(2006.01)
Ｆ１６Ｈ 61/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 57/02
Ｆ０４Ｂ 53/00 Ｈ
Ｆ１６Ｈ 61/00

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月21日(2024.9.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動力伝達機構を収容するケースと、
前記動力伝達機構に供給する油圧を制御するコントロールバルブと、
前記コントロールバルブにオイルを供給する電動ポンプと、を有する動力伝達装置であって、
前記ケースは、
前記動力伝達機構を収容する第１室と、
水平線方向で前記第１室に隣接配置された第２室と、を有し、
前記コントロールバルブは、前記第２室内で、複数の調圧弁を上下方向に並べる向きで縦置きされており、
前記電動ポンプは、前記第２室内で、モータの回転軸を前記上下方向に沿わせた向きで設けられており、
前記コントロールバルブと前記電動ポンプは、前記動力伝達機構の回転軸方向で並んでおり、
前記電動ポンプは、
治具の第１アームが係止される第１フランジ部と、
前記治具の第２アームにより支持される被支持部と、を有しており、
前記被支持部は、前記モータの回転軸に直交する断面の基本形状が円形を成しており、
前記第１フランジ部は、前記被支持部の外周から延出している、動力伝達装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記第１フランジ部は、前記被支持部における前記コントロールバルブとは反対側の領域から、前記コントロールバルブから離れる方向に延びている、動力伝達装置。
【請求項３】
請求項２において、
前記第２室は、
前記コントロールバルブと前記電動ポンプとの外周を囲む周壁部と、

前記周壁部に接合されて、前記周壁部の開口を塞ぐカバー部と、
前記第１室と前記第２室とを区画する区画壁と、で囲まれた空間であり、
前記周壁部の開口方向に沿う断面視において、前記第１フランジ部は、前記周壁部よりも前記カバー部側に位置している、動力伝達装置。
【請求項４】
請求項２において、
前記電動ポンプでは、第１ボス部と第２ボス部が、前記モータの前記回転軸方向に間隔をあけて設けられており、
前記第１フランジ部は、前記第１ボス部と前記第２ボス部の間に位置している、動力伝達装置。
【請求項５】
請求項４において、
前記第１フランジ部は、前記第２ボス部に接続されている、動力伝達装置。
【請求項６】
請求項４において、
前記第１フランジ部は、前記第１ボス部と前記第２ボス部とに跨がって設けられている、動力伝達装置。
【請求項７】
請求項４から請求項６の何れか一項において、
前記電動ポンプでは、第３ボス部と第４ボス部が、前記モータの前記回転軸方向に間隔をあけて設けられており、
前記第３ボス部と前記第４ボス部は、前記モータの回転軸を挟んで
前記第１ボス部および前記第２ボス部とは反対側に位置しており、
前記第３ボス部と前記第４ボス部の間に、第２フランジ部が設けられており、
前記第２フランジ部は、前記モータの回転軸方向で前記第２ボス部側に位置する前記第４ボス部から、前記第１ボス部側に位置する前記第３ボス部に向けて延びており、
前記第２フランジ部と前記第３ボス部との間に、隙間が設けられている、動力伝達装置。
【請求項８】
請求項１から請求項６の何れか一項において、
前記電動ポンプは、
前記治具の当接部が当接する被当接部を有しており、
前記被当接部は、前記モータの回転軸方向から見て、前記モータの回転軸を通る直線に対して平行な平坦面である、動力伝達装置。
【請求項９】
請求項７において、
前記電動ポンプは、
前記治具の当接部が当接する被当接部を有しており、
前記被当接部は、前記モータの回転軸方向から見て、前記モータの回転軸を通る直線に対して平行な平坦面である、動力伝達装置。